



2022年5月13日

各 位

上場会社名 株式会社パピレス
代表者 代表取締役社長 松井 康子
(コード番号 3641 スタンダード)
問合せ先責任者 取締役総務・経理部長 須永 喜和
(TEL 03-6272-9533)

通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

●通期業績予想値と実績値の差異について

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,215	1,154	1,156	757	76.67
今回実績(B)	20,700	957	1,208	751	78.18
増減額(B-A)	△3,514	△197	51	△6	
増減率(%)	△14.5	△17.1	4.4	△0.9	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	23,714	2,227	2,288	1,542	156.43

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の2021年3月期の連結業績は当該基準等を適用した後の金額となっております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、広告施策の効果が、当初の想定に比して低くなったため、想定程には伸びず、前回発表予想を下回る結果となりました。

広告施策の効果につきましては、i) コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための経済活動の抑制が長期化したことにより、ユーザーの消費行動が低下していること、ii) 海賊版サイトのアクセスが急増したこと、iii) 個人情報保護法の改正に伴い、ターゲティング広告の規制が強化されていることにより、想定した広告効果との差異が発生しました。

利益につきましては、売上高の減少を受けて、営業利益は、前回発表予想を下回る結果となりました。経常利益は、主に為替差益が計上されたことにより、前回発表予想を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ほぼ前回発表予想とおりとなっております。

以上により、売上高は20,700百万円(前回予想比14.5%減)、営業利益は957百万円(前回予想比17.1%減)、経常利益は1,208百万円(前回予想比4.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は751百万円(前回予想比0.9%減)となりました。

以 上